

■ CONTENTS ■

その1

次世代電力需給マネジメント特別研究チームの紹介 ■ 4

電力中央研究所 次世代電力需給マネジメント特別研究チーム
研究参事 副チームリーダー

根本 孝七

その2

電気の新たな価値を活用する研究の紹介 ■ 8

電力中央研究所 次世代電力需給マネジメント特別研究チーム
電力・エネルギー価値創造グループ長 副研究参事

齋川 路之

その3

賢く電気をお使いいただく研究の紹介 ■ 12

電力中央研究所 次世代電力需給マネジメント特別研究チーム
電力・エネルギー価値創造グループ 需要マネジメントユニットリーダー 副研究参事

永田 豊

その4

良質な電気をお使いいただくための研究の紹介 ■ 16

電力中央研究所 次世代電力需給マネジメント特別研究チーム
研究参事 配電システムグループ長

小林 広武

■ 本冊子は、雑誌「月刊ビジネスアイ エネコ」で2015年12月号から2016年3月号に掲載された内容に加筆・修正したものです。

■ 各回参考文献一覧に記載のある「電力中央研究所報告」は、電力中央研究所ウェブサイト (<http://criepi.denken.or.jp/result/index.html>) よりダウンロードできます。

はじめに

この4月からいよいよ電力システム改革の第2ステップである小売の全面自由化が始まりました。これを受けて電気事業においては、これまで以上に「お客さまから選ばれ続ける」という視点がクローズアップされています。お客さまサイドでは、太陽光などの発電設備や、HEMSなどのエネルギー管理のための機器が導入されるなど、これまでになく能動的になっています。このようなお客さまの能動化は、電力品質や設備利用率など、電力のサプライチェーンの全てに亘って遡上影響することになり、従って、お客さまと協調した取組が課題解決の鍵となります。

このような認識の下、お客さまと直接的に接する需要家サービス分野と配電分野の連携を密にすることで相乗効果を狙い、電力中央研究所では、総勢50名の各分野のエキスパートからなる次世代電力需給マネジメント特別研究チーム（略称：MPSD）を2014年7月に発足させました。

MPSDは、省エネ・再エネ、低炭素化、さらには少子高齢化なども含め、社会的な大きな課題について、合理的エネルギー利用（「上手なエネルギーの使い方」）と電力系統の安定運用（「良質な電気の供給」）を軸とした課題解決法を、社会や電気事業に提案することを目指しています。

このため、総合エネルギー産業や生活支援産業なども含め、新たな事業展開に必要となる新技術やツール、更には規格・基準など、技術的プラットフォームの構築を進めています。

また、小売全面自由化と数年後の発送電分離により、託送料金が電力流通分野の最重要評価関数になると考えられます。MPSDでは需要家サービス分野と配電分野の研究者が連携することで、託送料金の分母と分子になる電力需要と設備形成・運用にも総合的に取組み、電気事業による合理的託送料金の形成を技術的側面から支援してゆきます。

本冊は、月刊「ビジネスアイ エネコ」誌に、2015年12月号から2016年3月号に亘って、次世代電力需給マネジメント特別研究チームのこれまでの研究成果を中心に紹介させて頂いたものを冊子として纏めたものです。お手に取って頂いたのを機に、是非ご一読頂き、MPSDへのアドバイスやご意見、ご指導など頂ければ大変幸甚にございます。

次世代電力需給マネジメント特別研究チーム 一同

